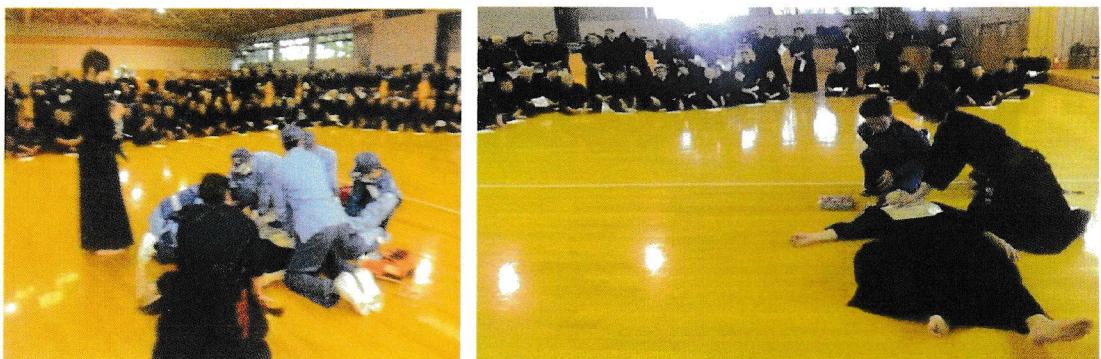


体育活動中の事故防止に関する調査研究

千葉大学大学院環境生命医学博士課程 増茂誠二

事故は、その原因を捉えた場合、様々な状況の下で、発生しているが、児童生徒が、体を動かす活動である体育活動は、事故件数からも安全対策の徹底が必要である。体育活動としては、体育の授業と運動部活動が、主なものとして挙げられるところから、ここに着目して考えることとした。



事例 1	高 1 男	課外指導: 体育的部活動(剣道) 8月	死亡
剣道部の活動中、午前 9 時頃から正午頃まで、約 1 時間ごとに 15 分の休憩をとりながら、素振り、切り替えし、面打ち、懸かり稽古などの練習を行った。清掃、後片付けの後、昼食休憩をとり、体育館脇の階段に座った。午後 2 時頃、体育館脇で意識が無く、仰向けに倒れているところを発見された。			
事例 2	小学 5 男	剣道教室での活動 7月	死亡
剣道教室において面打ち練習をしていた。指導者の合図で「はじめ」をかけた瞬間、床に倒れこんだ。意識はなく痙攣し泡状なものを嘔吐した。指導者は救急車を呼ぶとともに応急処置ができる者を探していた。			
事例 3	64歳男性	剣道同好会での活動 1月（北海道）	死亡
市営体育館において剣道同好会による稽古をしていた。蹲踞から立ち上がり、大きな声で気合をかけたところ、相手にもたれかかるかのように倒れこんだ。意識はなく痙攣を起こし口をパクパクと動かしていた。AED などは備えてなく、居合わせた者が直ちに胸骨圧迫を施し救急車の到着を待った。			
事例 4	57歳女性	剣道同好会での活動 8月（大阪）急性心筋梗塞	蘇生
剣道合宿中、水分の補給と休憩をとりながら、切り替えし、面打ち、懸かり稽古などの練習を行った。昼食休憩をとり、日本剣道形を始めた直後、木刀を突然落とし床に倒れこんだ。意識はなく、大量の発汗があった。合宿に参加していた看護師と中学教員により胸骨圧迫及び AED を施した。救急車が到着した時は脈が触れ、かすかにうめき声をあげていた。血圧 (87/43)			

男女別にみた事故件数

男女別にみた事故の割合は、男子 83%、女子 17%で^てあり、男女比は約 5 対 1 で^てあった。また、学校種別にみると、男子の割合は、小学校 63%、中学校 78%、高等学校 88%で^てあり、学校種が^が上になるほど^{ほど}男子の割合が^が増えている(表 3)。これは前項と同様、男子^では体格の発育や運動能力の向上に伴い、受傷に関わる外力の大きさが^が増加することが^が大きな要因で^てあると考える。

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
柔道	14	7	3	20	2	4	50
野球	3	6	2	14	7	3	35
ハ ^ッ スケットボ ^ー ール	5	7	3	7	8	3	33
ラグ ^ビ ー	1	0	0	5	13	12	31
サッカー	5	2	1	9	3	6	26
陸上競技	3	3	1	6	4	2	19
ハ ^ッ レーボ ^ー ール	2	4	1	3	3	1	14
テニス	4	3	1	4	2	0	14
剣道	1	3	2	4	3	0	13
器械体操等	0	1	2	3	5	0	11
水泳	2	3	1	2	2	0	10
ハンド ^ボ ール	3	1	0	1	3	0	8
ボ ^ー クシング ^ー	0	0	0	3	4	0	7
自転車	0	0	0	2	3	1	6
その他	1	6	2	16	11	5	41
合計	44	46	19	99	73	37	318

表 5-5. 中学校・高等学校で^ての運動部活動における死亡・重度の障害事故

-競技種目別・学年別発生件数-